

ゆ ゆっくりのお産やさしい赤ちゃんに
《遷延分娩》

安産とはどんなお産を指すのでしょうか。短時間で生まれるお産でしょうか。短時間で生まれて、しかも赤ちゃんに異常がなければ言うことはありません。しかし、早いお産は陣痛が強いので結構きつく、そして分けの分からないうちに生まれていて、なんてことも少なくありません。赤ちゃんも一気に押し出されるため臍帯が牽引されて心音が低下することもあります。新生児仮死となるお産の多くは早い(早すぎる)お産です。「早いお産これほど怖いものはなし」若い先生への分娩取扱いの心得を説いた「いろはかるた」の「は」の項です。ちなみに「い」は「いきむのは排臨(頭が見えて)からだあわてるな」です。

安産とは、たとえ時間はかかったとしても、妊婦さんが陣痛を寄せては返す波のように自然なものとして受け入れてリラックスし、赤ちゃんがかけていただけ時間をかけながらゆっくり降りてくる、そのような出産を指すのではないかと思います。



分娩時間が赤ちゃんに与える影響を、済生会新潟第二病院のデータでみてみましょう。表は初産婦さんを対象に、分娩所要時間ごとの胎児の状況を示したものです。やはり時間のかかった分娩ほど、特に最下段の分娩が進行せず帝王切開になった例では胎児の体重が大きくなっているのは当然といえば当然です。注目すべきは、アプガースコアが3点以下の新生児仮死の頻度が分娩10時間未満の早い分娩で0.7%と高く、以後分娩時間が長いほど低い傾向となっていることです。アプガースコアとは、出生1分後(5分後)の新生児の心拍、呼吸、筋緊張、反射、皮膚色の5項目を各2点、合計10点満点で表すもので、8点以上が正常、3点以下は重症仮死とされます。もう一つの指標に臍帯動脈のpHがあります。胎児が子宮内で十分なガス交換ができなくなると酸素が低下し二酸化炭素が増加します。酸素が少ないと乳酸が蓄積することと、増えた二酸化炭素で血液は酸性にすなわちpHが低下します。この値は早いお産と長引いたお産で差はありませんでした。

分娩所要時間ごとの児の状態(初産婦)

分娩時間	例数	平均体重	Apgar ≤3	pH
<10 時間	1270	2982g	0.70%	7.300
<20 時間	944	3082g	0.53%	7.295
<30 時間	324	3128g	0.62%	7.298
≥30 時間	237	3130g	0.42%	7.295
帝王切開	269	3313g	0.37%	7.306

長時間の分娩では、胎児がゆっくり下がってくるため、臍帯の牽引や圧迫が少ないことが、具合が悪くならない原因と思われる。もしお産が長引いたとしても「ゆっくりとした分娩は赤ちゃんにやさしい」ことを思い出して焦らないようにしてください。

め 命名の時は人生まだ半ば
《命名について》

帝王切開で無事女の子が生まれた時に麻酔科の先生が妊婦さんに、「もう名前は決まっているんですか」と尋ねました。「はい、かおりです、主人が前から考えていました」。麻酔科の先生「前から考えていた?もしかしてそれって昔の女の子の名前じゃないよね」。スタッフ一同一瞬凍りつきましたが、妊婦さん曰く「いえ、昔の女はゆうこです」。妊婦さんの1本勝ち。

「赤ちゃんの名前はもう決まりましたか?」命名は私たち産科医にとって、妊婦さんとお話する際の格好の話題です。最近感心した命名の一つが、女の子に付けられた「爽(さわ)」ちゃんです。もちろんさわやかな爽ですが、4つくらい×があっても大丈夫という意味もあるそうです。きっといい人生を歩んでいくことでしょう。

一方、最近よく指摘されるマイペースというか、DQNな名前にお目にかかることもあります。たいいていのスタッフは、やや苦笑しつつも「あ、それもいいですね」とか「オリジナリティがありますね」などと肯定してしまいます。しかし私は「これは止めた方がいいんじゃないか」と思える名前を言われた時は、「ご両親にもう一度相談してはどうですか」などと婉曲的ながら否定の意を表すようにしています。もちろん出生届がまだ提出されていないことを確認してですが、子どもの命名をする親の多くは20代か30代で、人生経験は必ずしも豊かとは言えない世代です。ご両親の意見を聞いたり、古典を引用したりして、じっくりと命名を考えてみてはいかがでしょうか。

以前1年間に当院で出生した赤ちゃんの名前を集計したことがあります。男の子の1位は「はると」くん、女の子の1位は「ゆい」ちゃんでした。集計していて感じたのは男の子の名前より女の子の名前の方が多種に分散していることでした。実際、同じ年の明治安田生命の全国調査でも「はると」くんは1位で、2位以下も男の子の名前は当院の結果と全国の結果が比較的似ており、女の子に比べれば種類が限定されていました。今の妊婦さん世代の名前は女性の方が種類が限られており、男性より女性の名前の方がパソコン入力も楽です。現在は逆であり、女の子の命名はより頭を悩ますことになっているようです。



大きな上のお子さんがいるご家庭でも、命名はややこしいことになります。上の子が命名に関していろいろな意見を言うのです。10年ぶりで3人目の赤ちゃんを出産した方が「大樹」と命名したら、中学生になる長男から反対されたそうです。長男曰く「友達に同じ名前のやつがいて、しかもそいつアホだから」。お母さんは思いました「お前もよそ様に同じことを言われているよ、きっと」。